

富山県危機管理連絡課長会議

令和7年12月25日（木）10時

- 1 今後の気象予測について
- 2 大雪におけるタイムライン等について
- 3 高病原性鳥インフルエンザの防疫体制について
- 4 その他

今後の見通しについて

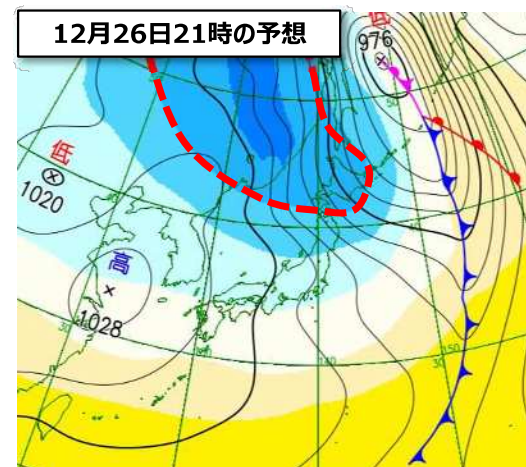
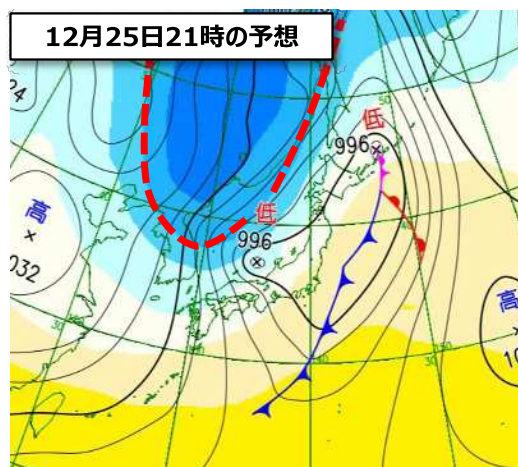
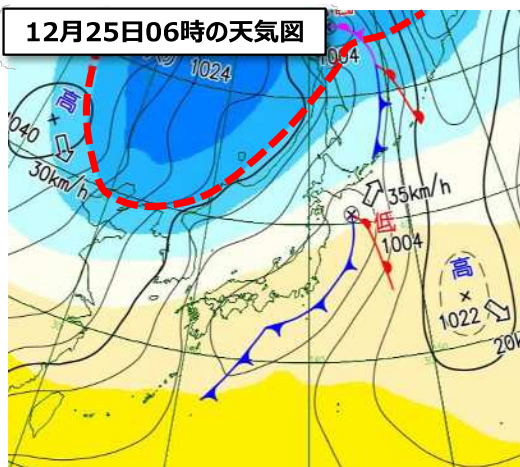
【気象概況】

25日は日本海西部で低気圧が発生し、26日にかけて急速に発達しながら日本海を東へ進む見込みです。また、三陸沖にある低気圧が26日にかけて、発達しながら北海道付近からオホーツク海へ進むでしょう。

日本付近は強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となる見込みです。

富山県の海上では、26日未明から明け方にかけて北西の風が非常に強く吹き、26日明け方から27日にかけて海はしけとなる所がある見込みです。富山県の山間部では、26日昼前から夜のはじめ頃にかけて大雪となる所があるでしょう。

予想よりも低気圧が発達したり、冬型の気圧配置が強まった場合には、東部北の海では警報級の高波となるおそれがあります。予想よりも寒気が強まったり同じ地域で雪が降り続いた場合は、警報級の大雪となる可能性があります。



----- 氷点下36℃（大雪の目安）

上空500hPa（約5000から6000m）の気温



防災時系列（バーチャート）

		25日				26日								27日			
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く				
大雪 (センチ)	平地																
	東部山間部																
	西部山間部																
予想される 24時間降雪量（平地）		← 25日06時～26日06時 多い所で0センチ →						← 26日06時～27日06時 多い所で10センチ →									
予想される 24時間降雪量（山間部）		← 25日06時～26日06時 多い所で10センチ →						← 26日06時～27日06時 多い所で40センチ →									
風 (メートル)	東部陸上	8 ↓	8 ↓	8 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↓	8 ↗	8 ↗	6 ↗	6 ↗	4 ↑				
	西部陸上	8 ↗	8 ↗	8 ↗	8 ↗	10 ↗	10 ↗	6 ↓	6 ↗	6 ↗	6 ↗	4 ↗	3 ↗				
	東部海上	10 ↓	10 ↓	18 ↗	18 ↗	20 ↗	20 ↗	18 ↗	15 ↗	15 ↗	15 ↗	12 ↗	12 ↗				
	西部海上	10 ↓	10 ↓	10 ↗	15 ↗	20 ↗	20 ↗	18 ↗	15 ↗	13 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↗				
波 (メートル)	東部北	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0				
	東部南	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5				
	西部	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5				
雷	全域			竜巻・ひょう	竜巻・ひょう	竜巻・ひょう	竜巻・ひょう	竜巻・ひょう	竜巻・ひょう	竜巻・ひょう	竜巻・ひょう	竜巻・ひょう					

警報級 注意報級

早期注意情報（警報級の可能性） [中] の期間

- 海上では、26日未明から明け方にかけて暴風に警戒してください。
- 富山県では、26日昼前から夜のはじめ頃にかけて大雪による交通障害に注意・警戒してください。
- 東部北の海では、26日明け方から27日にかけて高波に注意・警戒してください。
- 25日夜のはじめ頃から26日夕方にかけて落雷や竜巻などの激しい突風に注意してください。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。ひょうの降るおそれもありますので、農作物や農業施設の管理にも注意してください。

以下、参考

防災気象情報のリンク先

今後の気象状況により予想が変わることがありますので、気象台が発表する注意報・警報などの情報に留意し、常に最新の気象情報をご利用願います



早期注意情報（警報級の可能性）



気象情報



警報・注意報発表状況



降雪量予想



今後の雪



天気分布予報・時系列予報



最新の気象データ
（雪の状況）

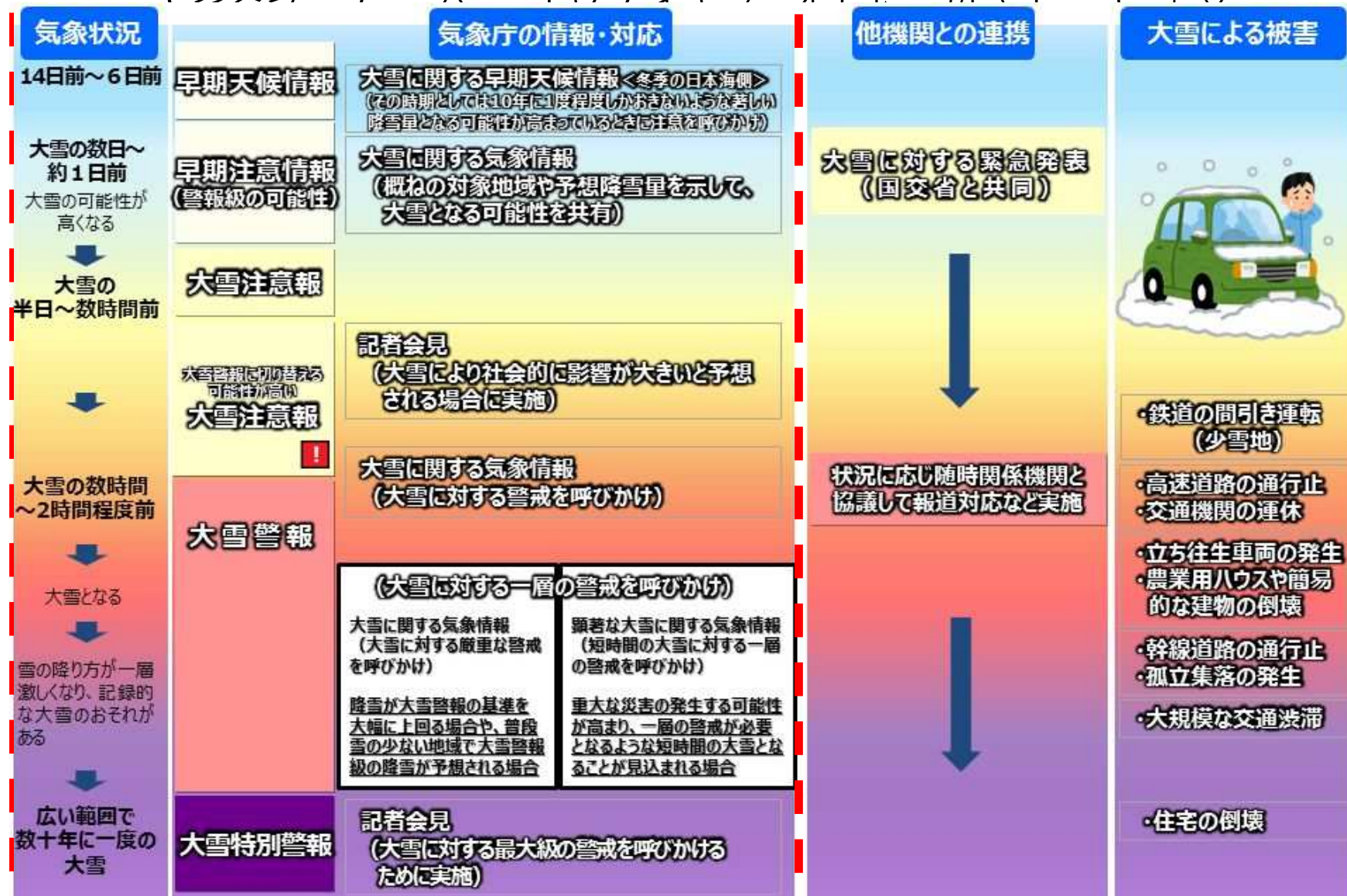


2週間気温予報



JPCZ（日本海寒帯気団収束帯）とは

(参考) 大雪のおそれに応じて



災害級の大雪（※）時におけるタイムライン（段階的な防災行動計画）

令和3年1月の大雪に係る検証会議(R3.1.21～2.22 3回開催)のとりまとめ(令和3年3月「令和3年1月7日～11日大雪に係る交通対策の課題と対応」)を踏まえたタイムライン(段階的な防災行動計画)
[ポイント]

災害級の大雪による被害が予想される場合には、

- ① 富山地方気象台と連携し速やかに大雪対策本部等を設置し、状況把握のための情報を収集し、必要とされる情報を発信。
- ② 関係機関ごとの段階的な行動を共有し、円滑な連携のもと、速やかに対応。
- ③ 人命を守ることを最優先に、トップダウンにより迅速に外出自粛等の呼びかけや自衛隊への災害派遣要請等を実施。



※「顕著な大雪に関する富山県気象情報」が発表される場合を想定

大雪タイムラインに基づく体制と会議開催基準

トリガー	気象情報等	体制	会議	出席者 (危機管理局以外)	開催時期・開催方法		
					トリガー 時間 トリガー 平日/休日	16時までに発表	16時以降に発表
1	大雪に関する富山県気象情報	大雪第1警戒本部 (自動設置)	危機管理連絡課長会議	連絡課長	平日	当日・対面	翌日・対面 〔翌日が休日の場合は、書面〕
					休日	当日・書面	翌日・書面 〔翌日が平日の場合は、対面〕
2	大雪に関する緊急発表	大雪第2警戒本部 (自動設置)	危機管理連絡会議	部局次長	平日	当日・対面	翌日・対面 〔翌日が休日の場合は、ハイブリッド〕
					休日	当日・ハイブリッド	翌日・ハイブリッド 〔翌日が平日の場合は、対面〕
3	顕著な大雪に関する富山県気象情報	大雪対策本部 (自動設置)	大雪対策本部会議	知事 副知事 部局長	速やかに ・ 原則、対面（必要に応じ、ハイブリッド）		

※ トリガー 2 が発表され、その後トリガー 1 が発表された場合は、トリガー 1 の対応不要

気象・被害情報

（気象台の行動計画を含む）

時間(目安)

（
3
日
前

大雪に関する富山県気象情報

3日程度先までに大雪の可能性がある場合

県、市町村（危機管理）

全庁的な注意警戒の徹底

危機管理連絡課長会議（県）

（大雪第1警戒本部）

- ・ 配備体制増強やリエゾン派遣の検討
- ・ 市町村との連携

（予防的措置、避難所の除雪体制確認要請）

危機管理連絡会議等（市町村）

- ・ 注意喚起情報の発出
- ・ 交通機関の除雪体制確認
- ・ ドライバーに対し、車の相乗りや備品（チェーン、スコップ等）の準備を啓発
- ・ 早めの帰宅や車での外出を控えるよう、呼びかけ

- ・ 注意喚起情報プレス発表
- ・ 富山県防災WEB、富山県HP、県HP緊急情報、県公式X等で周知

国、県、市町村、NEXCO (道路除雪対応)

除雪体制の構築

- ・ 道路管理者間の情報連絡本部の準備および情報共有（以後継続）
- ・ 気象情報の共有と職員^{（県）}の動員体制の確認
- ・ 関係機関との連絡体制等確認・救援物資、支援体制の準備
- ・ **予防的な通行止めの検討(NEXCO、国)**
- ・ **県境を跨ぐ広域迂回、運送日の調整について要請を検討(NEXCO、国)**

自衛隊、警察、消防

危機管理連絡課長会議における 情報共有

- ・ 気象情報の確認
- ・ 関係機関との連絡体制等確認
- ・ 富山地本から随時第1 4 連隊への情報提供
（自衛隊）
- ・ 部内における情報共有（警察）

交通関係（鉄道、空港）

大雪に向けた体制の事前準備

- ・ 関係航空会社に運行予定確認（空港）

県民・企業

- ・ テレビ、ラジオ、インターネット等による気象情報等の確認
- ・ 資機材（車へのスコップ^o配備、飲料水、食糧等）を準備
- ・ タイヤ等の冬季装備（スタッドレスタイヤ、チェーン等）を装着・確認
- ・ 荷物の配送計画見直し（運送事業者・荷主）

- 1 大雪に関する気象情報などの**防災気象情報の収集、伝達**
に万全を期するとともに、**職員の連絡体制や参集体制の**
再確認など、警戒体制を強化すること
- 2 災害が発生した場合には、被害の規模等を把握し、迅速
かつ適切な**応急対策を行う**とともに、**被害の状況等につい**
ては直ちに危機管理課・防災課へ報告されたいこと。

高病原性鳥インフルエンザの防疫体制

令和7年12月25日
農業技術課

1 国内での発生状況（12/22 現在）

	R7 年度	R6 年度
養鶏場	【発生期間】10/22～12/20 【合計】6道県8事例 約240万羽 (北海道、新潟県、宮崎県、鳥取県、兵庫県、岡山県)	【発生期間】10/17～12/20 【合計】11道県15事例 約171万羽 (北海道、千葉県、新潟県、島根県、香川県、宮城県、岐阜県、鹿児島県、埼玉県、宮崎県、愛媛県)
野鳥	【発生期間】10/15～12/15 10道県60事例（12/22現在） (北海道、宮崎県、山形県、鹿児島県、福岡県、群馬県、大分県)	【発生期間】9/30～12/17 15道県86事例 (北海道、福島県、新潟県、秋田県、滋賀県、徳島県、鹿児島県、福岡県、岩手県、福井県、鳥取県、熊本県、愛知県、埼玉県、千葉県)

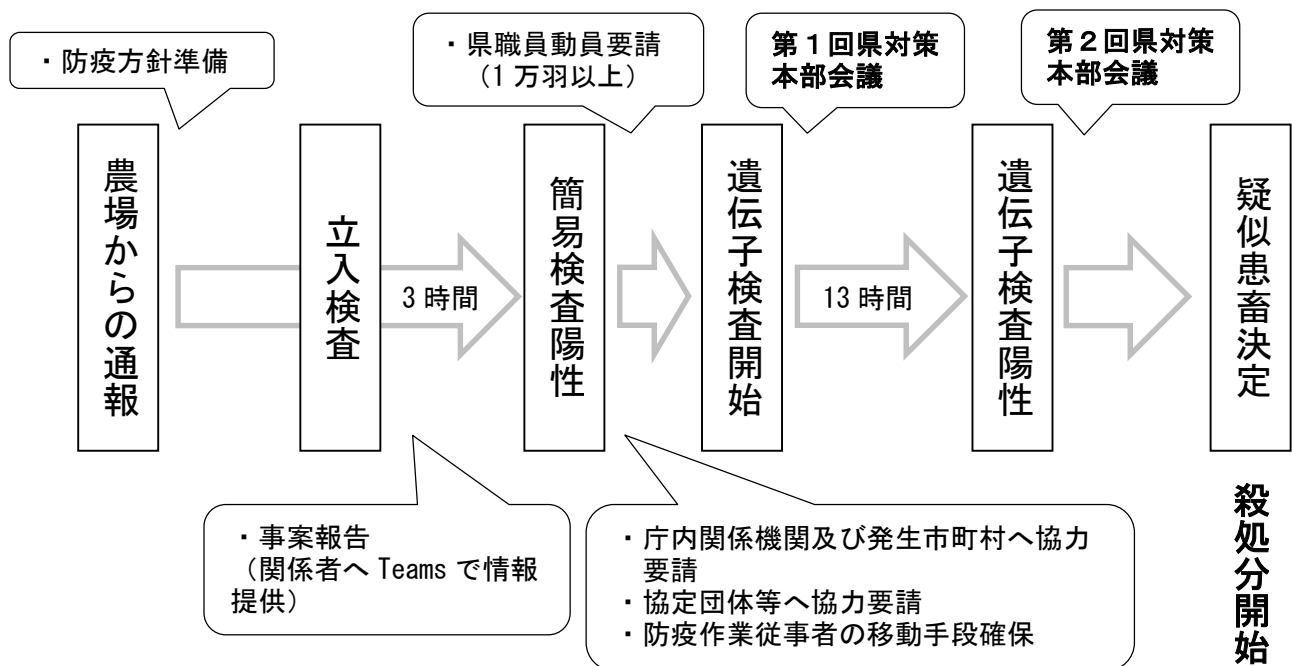
2 県の対応

(1) これまでの取組み

R7.10月～12月の遵守率は100%

- ① 飼養衛生管理基準（重点7項目※）の遵守を確認（100羽以上の21養鶏場）
※重点7項目：畜舎等での手指消毒、衣服・長靴の交換、車両消毒、野生動物侵入防止対策等。
- ② モニタリング検査の実施
【定点モニタリング】6農場（～9月）、【強化モニタリング】15農場（10～5月）
- ③ 消毒の徹底
 - ・県内一斉消毒日（毎月20日）を設定
車両消毒、消毒槽の点検、畜舎内外の清掃・消毒など
 - ・緊急消毒の実施（県内21養鶏場に消石灰を配布）
【消毒期間（配布量20t）】R7.11.6～21
- ④ 早期発見・早期通報の徹底
 - ・養鶏農家が死亡鶏の増加等の異常を発見した場合、速やかに県家畜保健衛生所に通報することを指導。
 - ・家畜保健衛生所では、24時間体制で受け付け対応（携帯電話、転送電話の活用）。
- ⑤ 防疫資材の備蓄（県内最大規模の農場（37.7万羽）を想定した3日分）
 - ・防護服12,000、長靴3,000、マスク5,000、ゴーグル5,000、手袋12,000など
 - ・備蓄場所：JAライフ倉庫（富山市吉岡）、富山農振セ、畜研、東西家保
- ⑥ 防疫演習の開催
 - ・9/30：県防疫演習（県民会館及び農協会館、約150名（市町村、畜産団体、協定締結団体、県警、農政局等））
 - ・10/22～11/7：地域防疫演習（富山市、小矢部市、4農林振興センター）
【演習内容】高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫作業
集合施設における業務内容等の確認、防護具の着衣・脱衣
- ⑦ 県家畜伝染病防疫対策本部会議の開催
 - ・11/11開催 【内容】県の対応、緊急消毒、発生時対応の再確認等
- ⑧ 協力団体との協定
 - ・防疫作業を委託する民間事業者（㈱阪急交通社、東武トップツアーズ㈱、交通整理等を委託する県警備業協会）との協定締結（10.30）
(すでに締結済み：県建設業協会、県ペストコントロール協会（H24.9）)

3 防疫措置開始までの流れ



4 各部局への動員要請

(1) 要請のタイミング

- ①農業技術課は、簡易検査で陽性と判定後、各部局連絡課へ発生報告します。
- ②動員要請が必要な場合（原則、1 万羽以上を飼養する 10 農場）、農業技術課は、発生報告から 1 時間を目途に、各部局連絡課へ動員要請の連絡をします。

(2) 要請の手順

①従事者名簿の送付

- ・農業技術課は、各部局連絡課から事前に提出いただいている名簿を基に、作業班ごとの名簿を作成し、各部局連絡課の責任者に、集合時間等とともに送付します。

②従事者名簿の修正、必要事項の記入

- ・名簿に変更がある場合は修正し、集合施設までの移動手段（県庁発着バス、公用車、私有車等）を記入して返送下さい。

③職員への連絡

- ・名簿に記載のある職員に、集合時間等を連絡願います。

【防疫作業に従事できない職員】

- ・一年以内に入院
- ・血圧が 180 以上/110 以上
- ・一週間以内にインフルエンザに本人もしくは家族が罹患
- ・37.5℃以上の発熱
- ・過去に抗インフルエンザ薬による副作用が出た
- ・体調不良
- ・妊娠中 など

(3) 防疫措置期間

- ・約 3～7 日間（農場の規模によって異なります）

- ・高病原性鳥インフルエンザの発生を防ぐため、対策を講じております。
- ・しかしながら、今シーズンも発生リスクは高まっております。
- ・万が一、発生した場合は、防疫対応へのご協力をお願いします。

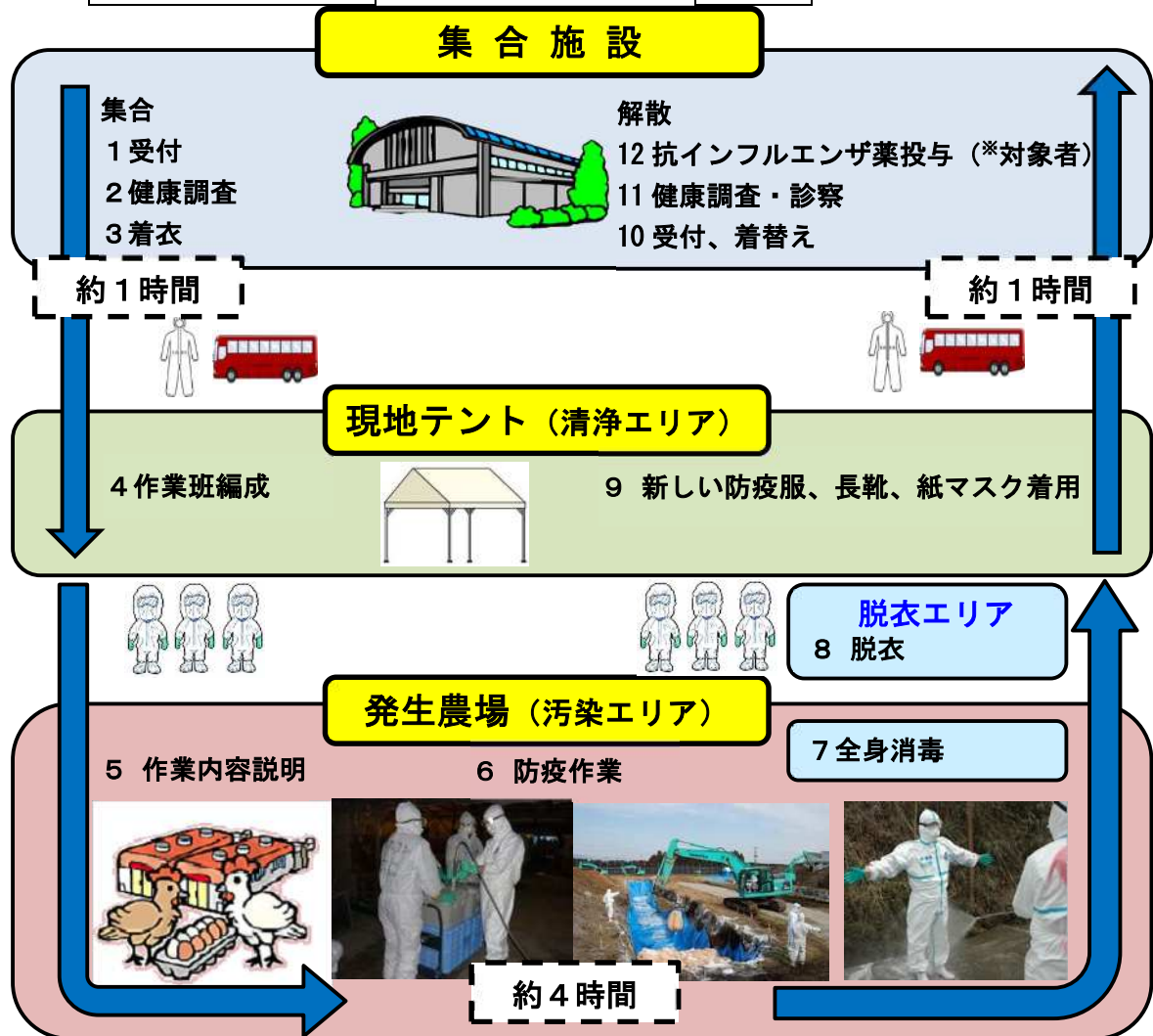
○防疫作業従事者の流れ

- ・農場での作業：4 時間
- ・動員人数：1 クールあたり最大 80 名（1 日あたり 80 名×6 クール＝480 名）

集合施設(体育館等) ⇒⇒《バスで移動》⇒⇒現地テント(清浄エリア)

⇒⇒発生農場（約 4 時間作業(休憩含む):殺処分、汚染物品回収、埋却、消毒）

⇒⇒現地テント(清浄エリア) ⇒⇒《バスで移動》⇒⇒集合施設 ⇒⇒解散



○防疫作業終了後の留意点

- ①帰宅後は直ちに入浴して下さい。
- ②農場内で着用していた衣服は、洗濯して下さい。
- ③当日は、十分に睡眠をとり、身体を休めて下さい。
- ④作業翌日から 10 日間、体温を測定し、毎日健康状態をチェックして下さい。
- ⑤気分がすぐれない、眠れない等の症状がある場合は、最寄りの厚生センター等にご相談下さい。
- ⑥発熱、悪寒、咳等のインフルエンザを疑う症状が現れた場合は、直ちに最寄りの厚生センター等へ連絡して下さい。
- ⑦抗インフルエンザ薬を服用される場合は、用法・用量を守って下さい。
- ⑧作業終了後 7 日間は、鳥類に接触しないで下さい。

※投薬対象者：問診等を実施して、作業時に PPE 装着に不備があった者、または希望者